

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	高齢者福祉課
課名	高齢者福祉課

予算	款	項	目	決算書
	3	2	5	110 頁

目名
老人施設管理費

事務事業名称
老人施設管理事業

1. 概要

目的	おおむね65歳以上の方で家族の援助が困難な状態で、独立した生活に不安のある方に居住の場を提供し、安心して生活できるように支援する	対象	独立した生活に不安のある65歳以上の高齢者
事業概要	<p>○高齢者福祉施設整備事業 ・施設は指定管理制度により平成24年度まで市社会福祉法人へ委託(H23年度中入所者は35名)</p> <p>○施設整備工事 ・グループホームふれんど水道施設改修工事(隣接の湧水を水源とする給水管理埋設工事):5,804,400円 ・スプリンクラー設置工事:5,110,350円</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	高齢者福祉施設整備事業	支援ハウス(入所者35人) 委託料	29,012	28,207			2,055	26,152	3
	新規								
臨時	施設整備工事	ふれんど水道施設改修工事・スプリンクラー設置工事 工事請負費	12,690	11,293				11,293	3
計			41,702	39,500	0	0	2,055	37,445	

2. 指標設定

成果指標	指標名	生活支援ハウス入所者数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	35人			総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-1-3)の高齢者や障がい者がいきいきと生活できるよう支援する			
活動指標	指標	a	入所施設数	b		c		d
	数値	目標	4ヶ所	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
生活支援ハウス入所者数	人	25.0 人	29.0 人	35.0 人
		71.4 %	82.8 %	100.0 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 入所施設数	ヶ所	4 ヶ所	4 ヶ所	4 ヶ所
		100 %	100 %	100 %
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
H24年度指定管理解除後、民営譲渡予定方針である。施設の老朽化があり、今後大規模修繕の可能性はある
対応（改善点等）
H25年度以降の施設維持管理の協議を行う

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

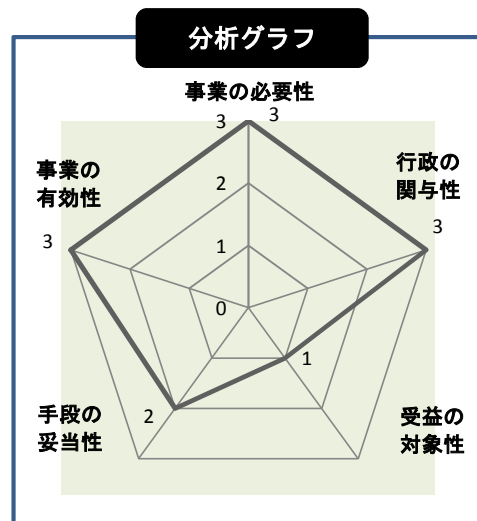
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		30,173	33,720	39,500	73,177
うち経常経費		29,243	33,720	39,500	28,214
財源内訳	国費	0	0	0	0
	県費	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	930	1,728	2,055	2,035
	一般財源	29,243	31,992	37,445	71,142
うち経常		29,243	31,992	37,445	26,179
事業費に係る人件費		853	876	1,075	859

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平成24年度は4ヶ所スプリングクレー設置で増額 平成25年度から生活支援ハウス施設を民営譲渡予定。生活支援ハウス事業は委託を予定している

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 老人福祉法により規定されている事業。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 老人福祉法により規定されている事業。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 高齢の要保護者の事業である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 新たに新設は行わない。今後も4ヶ所で推移
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 平成19年度以降は概ね30名程度で推移してきたが、入所者増加傾向にある



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	公共施設の見直し方針に則り業務を進めるとともに、個別進捗状況の整理を行うこと。